

令和4年5月20日

報道機関 各位

## 「人道」って何だろう？ ～中学生・高校生と考えるウクライナ人道危機



日時：令和4年5月28日（土） 13:00～14:30

場所：順天中学校・高等学校(北区王子本町1-17-13：JR京浜東北線 王子駅 徒歩3分)

令和4年2月にウクライナ各地で大規模な攻撃が始まって3カ月、ウクライナ国内外の避難民は1,200万人を超えています。その中には、若者や幼い子どもたちもいます。

ウクライナに関心が集まる今、中学生・高校生の世代に向けて、戦争や紛争にもルールがあるのか、そしてそのルールが守られていない現状を知り、どのような状況下でも、人が人として尊重されるとはどういうことか一緒に考える講演会を行います。

講師には、ウクライナなど紛争地域で人道支援を行う赤十字国際委員会（ICRC）の駐日代表部広報統括官の職員と、南スーダンやナイジェリアほか紛争地で医療支援を行っている武蔵野赤十字病院の看護師があたります。紛争によって、世界各地で、同年代の人たちがどのような環境下に置かれているのか身近なこととして気持ちを寄せ、自分たちに何ができるのか、未来に向け何をしたらいいのか問いかけます。

講演は、順天中学校・高等学校を会場にし、同校の生徒たちに対面で行うほか、都内の青少年赤十字（JRC）加盟校の278校の希望者に、オンライン配信での参加もあわせて行います。「戦争にもルールはあると思う？」「赤十字マークを掲げていれば命はまもられる？」など、事前のアンケートをもとにトークセッションも行います。

次の世代を担う若い生徒たちの視点を通して、あらためて、人道とは何かについて考える機会にもなればと思います。ご取材よろしくお願いたします。

### プログラム（13:00～14:30）

- (1) 国際人道法・昨今のウクライナ情勢について  
ICRC駐日代表部 広報統括官 真壁仁美 【30分】
- (2) 紛争地域での人道支援について  
武蔵野赤十字病院 看護師 朝倉裕貴 【30分】
- (3) トークセッション 質疑応答など 【15～20分】



ウクライナ北部の町イルピンで、負傷した人々に応急的な医療を施すICRCスタッフ

©ICRC

■ お問い合わせ・取材申し込み先 ■ 日本赤十字社東京都支部 企画課 下谷・三原・島田  
電話：03-5273-6747 E-mail：[kikaku@tokyo.jrc.or.jp](mailto:kikaku@tokyo.jrc.or.jp)  
当日の連絡先：080-3403-0221